

第74回

トラック運送業界の景況感（速報）

平成23年4月～6月期

平成23年4～6月期の景況感は、東日本大震災の影響で足下は急激に落ち込んだが、寸断されたサプライチェーンは比較的短期間で回復しつつあり、改善の兆しを感じられるようになった。一部品目には復興需要が見込まれるほか、個人消費も自粛ムードが和らぎ、省エネ家電や地デジ化商品の出荷増もみられた。

トラック運送業界の景況感は▲67で、前回（▲60）から7ポイント悪化した。ただし前回の見通し（▲88）よりは軽微な悪化に留まった。

今後は中長期化する電力供給不安や燃料高、7月に入ってから急激な円高の進行など不安材料は多い。業界の景況感の判断指標は今回から9ポイント改善の▲58が見込まれているが、震災前の水準との格差は未だ大きい。

平成23年8月2日

社団法人 全日本トラック協会

*1 従来は全国900事業者を対象としてきたが、今回も東日本大震災の影響を鑑み、前回と同様に青森県、岩手県、宮城県、福島県の一部の事業者への発送を控えた。

1. 今回（平成23年4月～6月期）の状況

(1) 概況

平成23年4～6月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は5%（前回7%）、「悪化」とした事業者は58%（前回55%）で、判断指標は▲67であった。前回（▲60）より7ポイント悪化したものの、前回の見通し（▲88）よりは軽微な悪化に留まった。

貨物別では、宅配以外の特積貨物、一般貨物は悪化したが、宅配貨物は改善している。各貨物とも運賃料金の水準は底堅く、とくに宅配貨物を中心とする特積貨物では持ち直しがみられた。

(2) 特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が39%、「増加」とする事業者が21%で、判断指標は▲29となり、前回（▲26）から3ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が40%、「増加」とする事業者が20%で、判断指標は▲30となり、前回（▲30）と同水準であった。営業利益は「減少」とする事業者が37%、「増加」とする事業者が20%で、判断指標は▲27となり、前回（▲34）から7ポイント改善した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が44%、「増加」とする事業者が23%で、判断指標は▲28となり、前回（▲20）から8ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が44%、「増加」とする事業者が22%で、判断指標は▲31となり、前回（▲23）から8ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が48%、「増加」とする事業者が17%で、判断指標は▲38となり、前回（▲32）から6ポイント悪化した。

(3) 一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が45%、「増加」とする事業者が15%で、判断指標は▲39となり、前回（▲28）から11ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が49%、「増加」とする事業者が18%で、判断指標は▲41となり、前回（▲32）から9ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が53%、「増加」とする事業者が15%で、判断指標は▲52となり、前回（▲44）から8ポイント悪化した。

(4) 運賃水準

運賃水準は、特積貨物では改善がすすみ、宅配貨物は▲15（前回▲37）、宅配以外の特積貨物は▲17（前回▲25）となった。一般貨物は前回からの変化は小さく▲23（前回▲24）であった。

(5) 実働率等

実働率は▲32（前回▲23）、実車率は▲31（前回▲19）となり、水準を下げた。

雇用状況（人手の過不足）は、▲7で前回（▲6）からほぼ変化なし。採用状況は▲14（前回▲8）、所定外労働時間は▲25（前回▲12）となり、やや水準を下げた。

保有車両台数は▲13（前回▲9）、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は▲27

(前回▲19)となり、やや水準を下げた。

(6) 地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、前回大幅悪化を記録した東北は指標を改善させたものの、未だ水準が低い。中国は前回からの下げ幅が大きく、地域別で最も厳しい。近畿、四国は前回水準を下回ったものの、引き続き相対的な水準は良い。

事業者の規模別では、小規模事業者、中規模事業者で水準が低い。

主な取扱い品目別では、機械関連貨物の水準が特に悪い。

2. 今後（平成23年7月～9月期）の見通し

(1) 概況

平成23年7～9月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲58で、今回から9ポイント改善の見込み。

(2) 特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量、営業収入はわずかに水準を上げるが、営業利益はわずかに水準を下げる見込み。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量は今回と変わらないが、営業収入、営業利益はわずかに水準を上げる見込み。

(3) 一般貨物

一般貨物は、営業利益を中心に、わずかに水準を上げる見込み。

(4) 運賃水準

宅配貨物、宅配以外の特積貨物、一般貨物とも、わずかに水準を下げる見込み。

(5) 実働率等

実働率、実車率ともわずかに水準を上げる見込み。

雇用状況（人手の過不足）は、過剰感、不足感ともない見込み。採用状況は横ばい、所定外労働時間はやや水準を上げる見込み。

保有車両台数はほぼ横ばいが続く見込み。貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は引き続きやや減少の見込み。

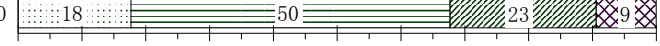
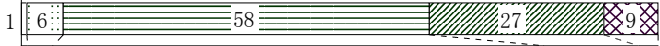
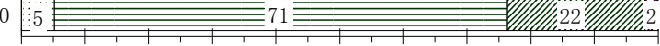
(6) 地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、北陸信越以外は水準を上げ、特に中部は大きく改善する見込み。中国、東北は持ち直すものの、引き続き厳しい見込み。

事業者の規模別では、引き続き小規模事業者の水準が低い見込み。

主な取扱い品目別では、機械関連貨物は大きく持ち直す見込み。

3. 特積貨物の概況

項 目		概 況	
宅	輸送数量	前回 1  (-26) 今回 1  (-29) 見通 0  (-24)	
		・前回よりわずかに水準を下げた。地域別では中国の水準が特に低い。一方、北海道は相対的に水準が高く、やや増加となっている。 ・今後はやや水準を上げる見込み。	
	営業収入 (売上高)	前回 1  (-30) 今回 1  (-30) 見通 0  (-26)	
配		・前回から水準に変化なし。地域別では中国の水準が特に低い。一方、北海道は相対的に水準が高く、やや増加となっている。 ・今後はわずかに水準を上げる見込み。	
	営業利益	前回 2  (-34) 今回 2  (-27) 見通 0  (-31)	
貨		・前回よりやや水準を上げた。地域別では近畿は相対的に水準が高く、東北、中部、九州は相対的に低い。 ・今後はわずかに水準を下げる見込み。	
	運賃・料金の水準	前回 1  (-37) 今回 1  (-15) 見通 0  (-21)	
物		・前回から22ポイント改善し、下げ止まりの状況が窺える。地域別では、とくに東北の水準が高く、やや上昇となっている。北陸信越、四国は水準が低い。 ・今後はやや水準を下げる見込み。	

【調査の概要】

- ◆平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。
今回は平成23年6月27日に配布。
平成23年7月25日到着分までを集計。
- ◆回収率：70.1%

	特 積	一 般	合 計
調査対象	2 4 7	6 2 0	8 6 7
回収数	1 2 6	4 8 2	6 0 8

- ◆従来は全国900事業者を対象としてきたが、今回も東日本大震災の影響を鑑み、前回と同様に青森県、岩手県、宮城県、福島県に立地する一部の事業者（計33件）への調査票送付を控えた。その結果、東北の発送数は37事業者（震災前直前は70事業者）、回答数は24事業者（同50事業者）となっている。

項 目		概 況	
宅配以外の特積貨物	輸送数量	前回 0 25 36 35 5 (-20) 今回 1 22 33 36 8 (-28) 見通 0 12 53 32 3 (-27)	
	・前回よりやや水準を下げた。地域別では中国の水準が特に低い。規模別では中規模事業者は大きく水準を下げ、減少となっている。 ・今後もほぼ同様の水準が続く見込み。		
	営業収入 (売上高)	前回 0 24 36 35 6 (-23) 今回 1 21 34 36 8 (-31) 見通 0 12 53 32 3 (-27)	
	・前回よりやや水準を下げた。地域別では中国の水準が特に低い。規模別では中規模事業者は水準を下げ、減少となっている。 ・今後はわずかに水準を上げる見込み。		
特積貨物	営業利益	前回 1 16 41 35 8 (-32) 今回 2 15 36 40 8 (-38) 見通 0 11 50 35 4 (-32)	
	・前回よりやや水準を下げた。地域別では東北は大きく持ち直した。規模別では中規模事業者は減少となっている。 ・今後はやや水準を上げる見込み。		
	運賃・料金の水準	前回 0 3 70 26 1 (-25) 今回 1 3 78 17 13 (-17) 見通 0 1 79 20 1 (-20)	
	・前回よりやや水準を上げ、下げ止まりの状況が窺える。地域別では、とくに東北の水準が高く、やや上昇となっている。近畿も相対的に水準が高い。 ・今後はわずかに水準を下げる見込み。		

凡例

	大幅に増加・上昇・好転・人手不足	+2点
	やや増加・上昇・好転・人手不足	+1点
	横ばい	0点
	やや減少・低下・悪化・人手過剰	-1点
	大幅に減少・低下・悪化・人手過剰	-2点

(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。

(注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1～+2、横ばい0、減少・悪化-1～-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

A (設問Aの回答者数) = $a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5$ (設問Aの選択肢1～5の回答数の和)

指標 = $\{ (+2 \times a_1) + (+1 \times a_2) + (0 \times a_3) + (-1 \times a_4) + (-2 \times a_5) \} \div A \times 100$

4. 一般貨物の概況

項 目	概 況
輸送数量 (全 体)	前回 1 (-28) 今回 1 (-39) 見通 1 (-35) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ・ 前回より水準を下げた。地域別では東北、中国の水準が特に低く減少となっている。北海道は前回より改善し減少に歯止めがかかった。規模別では、規模が小さくなるほど水準が低い。品目別では機械関連貨物は減少となっている。 ・ 今後はわずかに水準を上げる見込み。
営業収入 (売上高)	前回 1 (-32) 今回 1 (-41) 見通 1 (-39) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ・ 前回よりやや水準を下げた。地域別では東北、中部、中国の水準が特に低く、減少となっている。規模別では、規模が小さくなるほど水準が低い。品目別では機械関連貨物は減少となっている。 ・ 今後もほぼ同様の水準の見込み。
営業利益	前回 1 (-44) 今回 1 (-52) 見通 0 (-47) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ・ 前回よりやや水準を下げた。地域別では東北、中国、中部、規模別では小規模事業者、品目別では機械関連貨物で減少となっている。 ・ 今後はやや水準を上げる見込み。
運賃・料金の水準	前回 0 (-24) 今回 0 (-23) 見通 0 (-24) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ・ 前回より 1 ポイント水準を上げた。地域別では四国、近畿、規模別では大規模事業者でほぼ下げ止まりとなった。 ・ 今後もほぼ同様の水準の見込み。

5. 共通の概況

項 目	概 況
実 働 率	前回 0 15 51 28 5 (-23) 今回 1 11 52 28 8 (-32) 見通 0 9 58 27 6 (-29) ・前回よりやや水準を下げた。地域別では東北の水準が特に低い。規模別では規模が小さくなるほど水準が低い。品目別では機械関連貨物の水準が低い。 ・今後はわずかに水準を上げる見込み。
実 車 率	前回 1 15 55 26 4 (-19) 今回 1 10 55 28 7 (-31) 見通 1 8 61 25 6 (-26) ・前回より水準を下げた。地域別では東北の水準が特に低い。規模別では規模が小さくなるほど水準が低い。品目別では機械関連貨物の水準が低い。 ・今後はやや水準を上げる見込み。
雇用状況 (人手の過不足)	前回 1 11 72 15 2 (-6) 今回 1 10 71 15 2 (-7) 見通 1 13 68 15 3 (-4) ・人手の過不足感はほぼない。地域別では北海道、品目別では機械関連貨物はやや過剰となっている。 ・今後も過不足感はほぼない見込み。
採用状況	前回 0 6 82 8 4 (-8) 今回 0 4 82 8 6 (-14) 見通 0 6 81 8 5 (-10) ・前回よりやや水準を下げたがほぼ前年並み。地域別では北陸信越は水準を下げ、やや減少となっている。規模別、品目別では大きな差はみられなかった。 ・今後はわずかに水準を上げるが、ほぼ前年並みの見込み。
所定外労働時間	前回 0 13 65 19 4 (-12) 今回 0 9 64 22 6 (-25) 見通 0 9 68 19 4 (-18) ・前回より水準を下げた。地域別では東北、品目別では機械関連貨物で水準が低い。 ・今後はやや水準を上げる見込み。

項 目	
保有車両台数	前回 0 7 77 14 2 (-9) 今回 0 6 77 16 2 (-13) 見通 0 5 80 13 2 (-11)
・前回よりわずかに水準を下げたがほぼ前年並み。地域別では東北のみやや減少となっている。規模別、品目別では大きな差はみられなかった。 ・今後もほぼ同様の水準が続く見込み。	
貨物の再委託 (下請運送会社への委託割合)	前回 0 11 62 21 5 (-19) 今回 1 8 62 22 8 (-27) 見通 0 8 64 21 7 (-26)
・前回よりやや水準を下げた。地域別では東北の水準が相対的に低い。規模別では、規模が小さくなるほど水準が低い。品目別では機械関連貨物で相対的に水準が低い。 ・今後もほぼ同様の水準が続く見込み。	
経常損益	前回 1 12 42 38 8 (-41) 今回 0 12 39 38 11 (-47) 見通 0 10 46 36 8 (-42)
・前回よりやや水準を下げた。地域別では東北、中国、品目別では機械関連貨物で特に水準が低く、悪化となっている。 ・今後はやや水準を上げる見込み。	
業界の景況感	前回 0 7 39 42 13 (-60) 今回 0 5 36 44 14 (-67) 見通 1 7 37 45 10 (-58)
・前回より7ポイント下げた。地域別では中国、東北、品目別では機械関連貨物の水準が特に低い。 ・今後はやや持ち直す見込み。	

6. 事業者特性別の特徴

事業者特性	特 徴				
① 地域（注4）	北海道は、全国順位 8 位から 6 位に上がり、景況感は改善。 東北は、全国順位 9 位から 8 位に上がり、景況感は改善。 北陸信越は、全国順位 4 位のままだが、景況感は悪化。 関東は、全国順位 7 位から 3 位に上がり、景況感は改善。 中部は、全国順位 5 位から 7 位に下がり、景況感は悪化。 近畿は、全国順位 1 位を続けるが、景況感は悪化。 中国は、全国順位 6 位から 9 位に下がり、景況感は悪化。 四国は、全国順位 2 位のままだが、景況感は悪化。 九州は、全国順位 3 位から 5 位に下がり、景況感は悪化。 ◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆ H 2 3 年 1～3 月期 H 2 3 年 4～6 月期 H 2 3 年 7～9 月期見通し 1 位 近 畿 2 位 四 国 3 位 九 州 4 位 北 陸 信 越 5 位 中 部 6 位 中 国 7 位 関 東 8 位 北 海 道 9 位 東 北 → 近 畿 → 四 国 → 関 東 → 北 陸 信 越 → 九 州 → 北 海 道 → 中 部 → 東 北 → 中 国 — 文字の凡例 — 標準文字：やや悪化 ゴシック：悪化 反転文字：強い悪化 <tr><td>② 規模（注5）</td><td> ・業界の景況感は、小規模、中規模事業者で厳しい。大規模事業者での指標悪化は相対的に緩やか。 </td></tr><tr><td>③ 品目（注6）</td><td> ・消費関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準をやや上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、日用品は水準をやや上げたが、食料工業品は下げている。今後もほぼ同様の水準の見込み。 ・建設関連貨物を扱う事業者では、景況感の水準は前回とほぼ同様。一般貨物の輸送数量としてみると、林産品、金属製品が水準を下げている。鉱産品はやや持ち直したがいまだ水準は低い。今後はやや持ち直す見込み。 ・機械関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げ、品目別で最も厳しい。一般貨物の輸送数量としてみると、輸送機械の下げ幅が著しい。電気機械は持ち直している。今後は大きく持ち直す見込み。 ・その他貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、金属、繊維工業品が厳しい。金属製品、化学肥料、その他の製造工業品は前回から水準を下げている。今後は持ち直す見込み。 </td></tr>	② 規模（注5）	・業界の景況感は、小規模、中規模事業者で厳しい。大規模事業者での指標悪化は相対的に緩やか。	③ 品目（注6）	・消費関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準をやや上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、日用品は水準をやや上げたが、食料工業品は下げている。今後もほぼ同様の水準の見込み。 ・建設関連貨物を扱う事業者では、景況感の水準は前回とほぼ同様。一般貨物の輸送数量としてみると、林産品、金属製品が水準を下げている。鉱産品はやや持ち直したがいまだ水準は低い。今後はやや持ち直す見込み。 ・機械関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げ、品目別で最も厳しい。一般貨物の輸送数量としてみると、輸送機械の下げ幅が著しい。電気機械は持ち直している。今後は大きく持ち直す見込み。 ・その他貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、金属、繊維工業品が厳しい。金属製品、化学肥料、その他の製造工業品は前回から水準を下げている。今後は持ち直す見込み。
② 規模（注5）	・業界の景況感は、小規模、中規模事業者で厳しい。大規模事業者での指標悪化は相対的に緩やか。				
③ 品目（注6）	・消費関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準をやや上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、日用品は水準をやや上げたが、食料工業品は下げている。今後もほぼ同様の水準の見込み。 ・建設関連貨物を扱う事業者では、景況感の水準は前回とほぼ同様。一般貨物の輸送数量としてみると、林産品、金属製品が水準を下げている。鉱産品はやや持ち直したがいまだ水準は低い。今後はやや持ち直す見込み。 ・機械関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げ、品目別で最も厳しい。一般貨物の輸送数量としてみると、輸送機械の下げ幅が著しい。電気機械は持ち直している。今後は大きく持ち直す見込み。 ・その他貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、金属、繊維工業品が厳しい。金属製品、化学肥料、その他の製造工業品は前回から水準を下げている。今後は持ち直す見込み。				

（注4）地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

（注5）規模別分類

大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

（注6）品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

そ の 他 貨 物：石炭、原油、金属、石油、化学、紙・パルプなど

7. 景況感一覧表

		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の 特積貨物											
全 体		↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	→	→	→	↗	↗	↗
地 域	北海道	↗	→	→	↗	→	→	↗	↗	↗	→	→	→	↗	→	↗
	東北	↗	↗	↓	↗	→	↗	↓	↓	↗	↗	→	→	↗	↗	↗
	北陸信越	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	→	↗	↗	↗	↗	↗
	関東	↗	→	→	↗	↗	↗	↗	↗	↗	→	→	→	↗	↗	↗
	中部	↗	↗	↗	→	↗	↗	↗	↗	↗	→	→	→	↗	↗	↗
	近畿	↗	↗	↗	↗	→	→	↗	↗	↗	→	→	→	→	↗	↗
	中国	↗	↗	↗	↗	↓	↗	↗	↗	↗	→	→	→	↗	↗	↗
	四国	↗	↗	→	↗	↗	↗	→	↗	↗	→	→	→	→	↗	→
	九州	→	↗	↗	→	↗	↗	↗	↗	↗	→	→	→	→	↗	↗
事業 者規 模	小規模事業者	↗	↓	↗	↗	↗	→	↗	↗	↗	→	↗	→	↗	↗	↗
	中規模事業者	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	→	→	→	↗	↗	↗
	大規模事業者	↗	→	→	↗	↗	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	→
取 り扱 い品 目	消費関連貨物	↗	→	→	↗	↗	↗	↗	↗	↗	→	→	→	↗	↗	↗
	建設関連貨物	↗	↗	↗	↗	↗	→	↗	↗	↗	→	↗	→	↗	↗	↗
	機械関連貨物	↓	↓	↗	↗	↗	↗	↗	↓	↗	→	↗	→	↗	↗	↗
	その他貨物	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	→	→	→	↗	↗	↗

(注7) 各項目は、関連する判断指標(前年同期に対する水準)から平均値を算出。

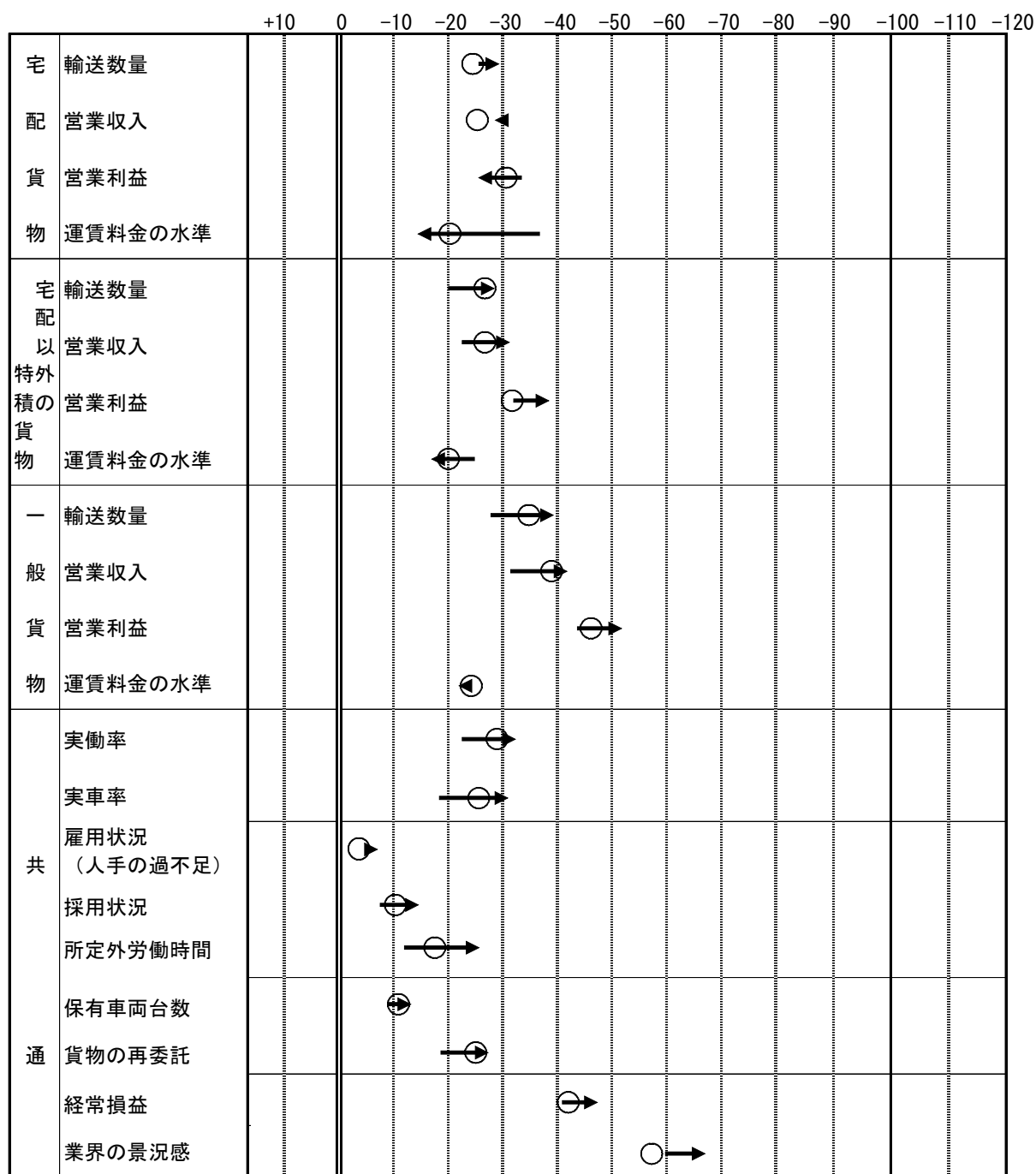
貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。

凡例・各欄は、左:前回(1-3月) 中央:今回(4-6月) 右:見通し(7-9月)

・矢印と判断指標の対応

判断指標	...	-100	...	-60	...	-20	...	+20	...	+60	...	+100	...
矢 印	↓	↓	↘	→	↗	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑

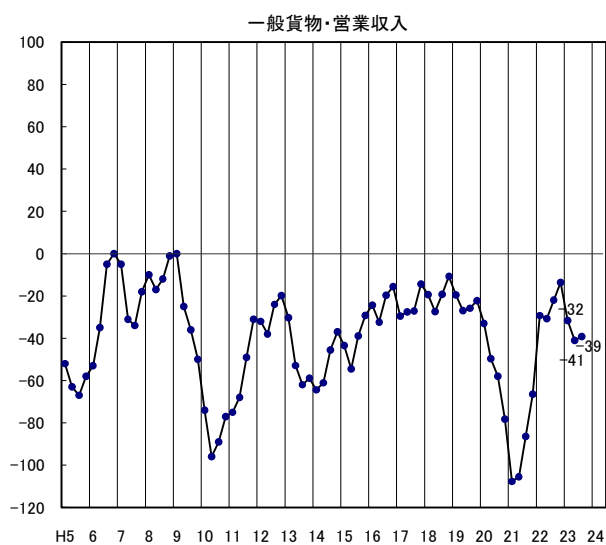
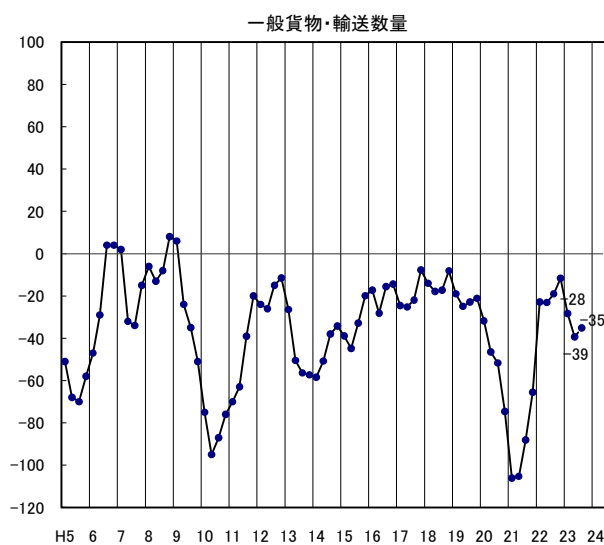
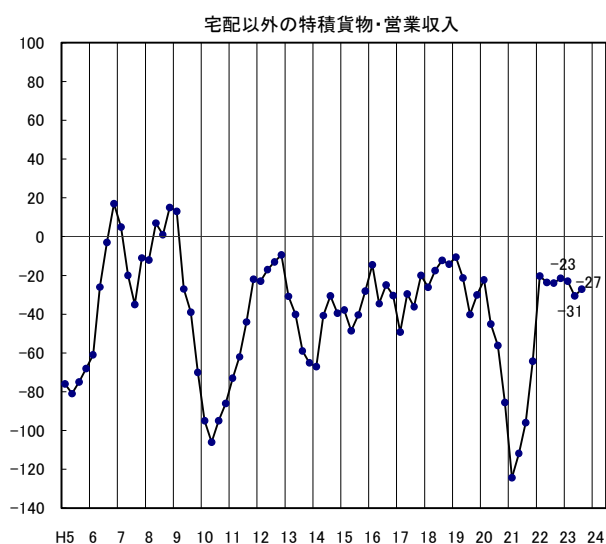
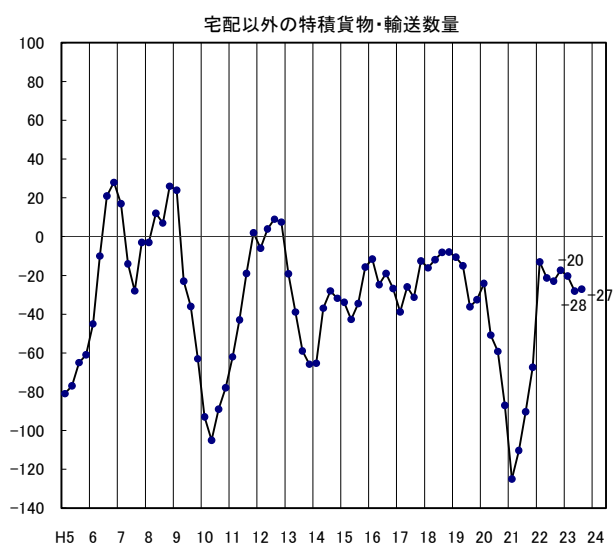
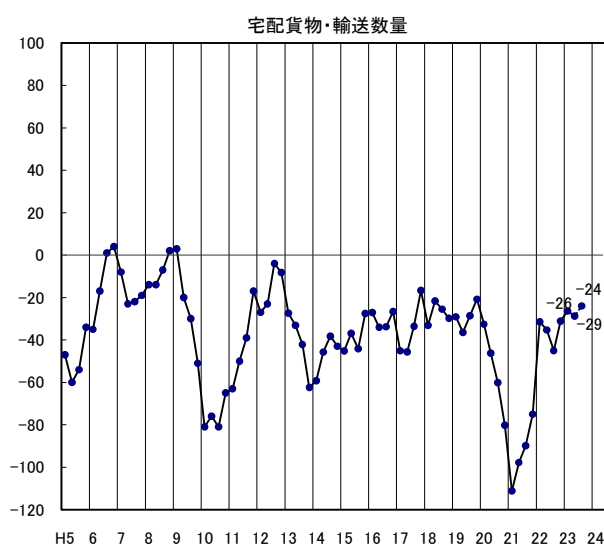
8. 業況判断指標の前回調査（平成23年1月～3月期）からの変化



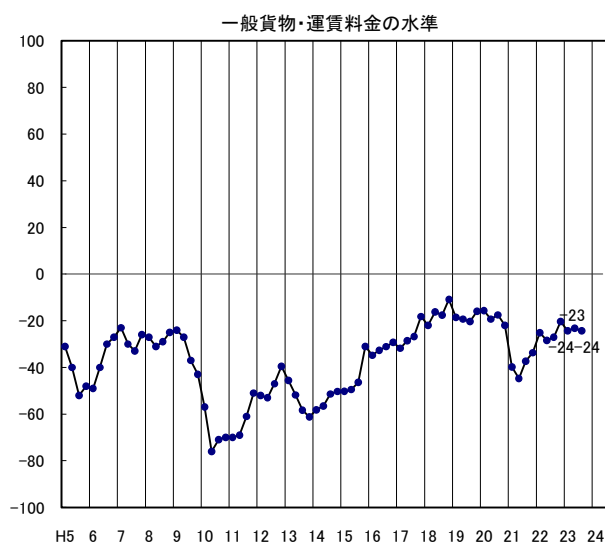
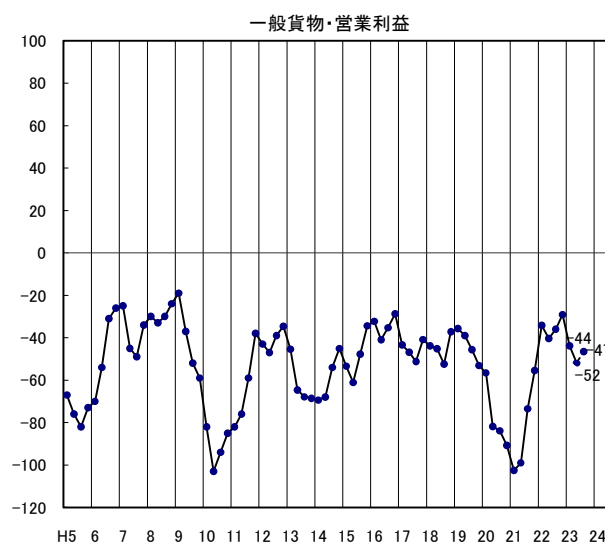
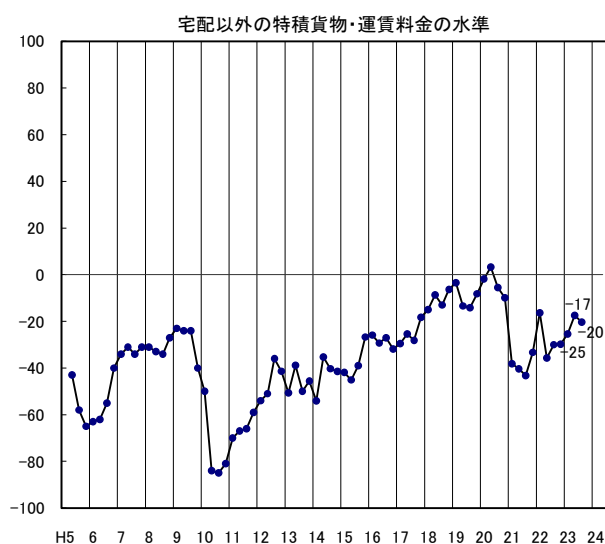
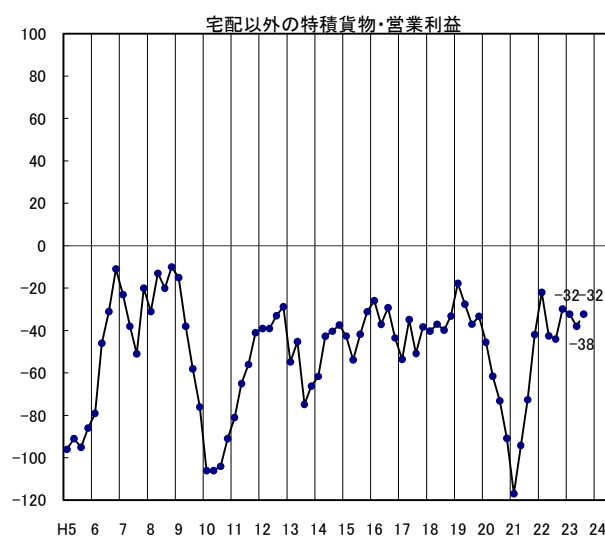
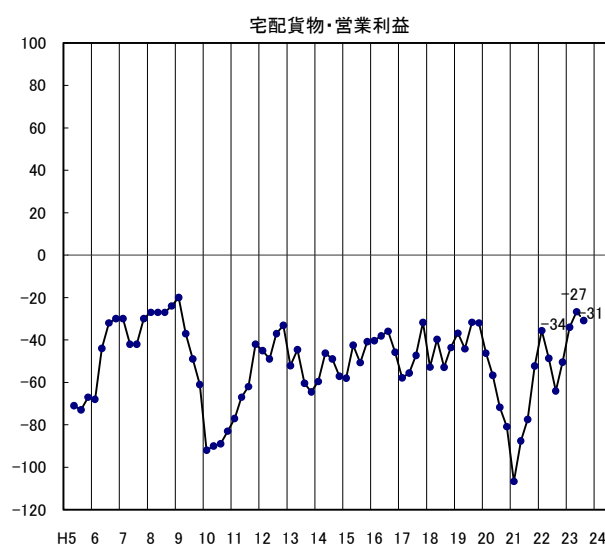
凡 例

 矢元：1-3月期の実績
 矢先：4-6月期の実績
 白丸：7-9月期の見通し

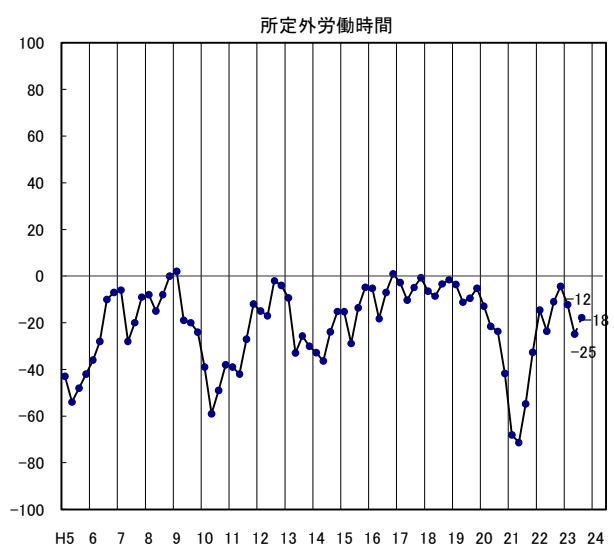
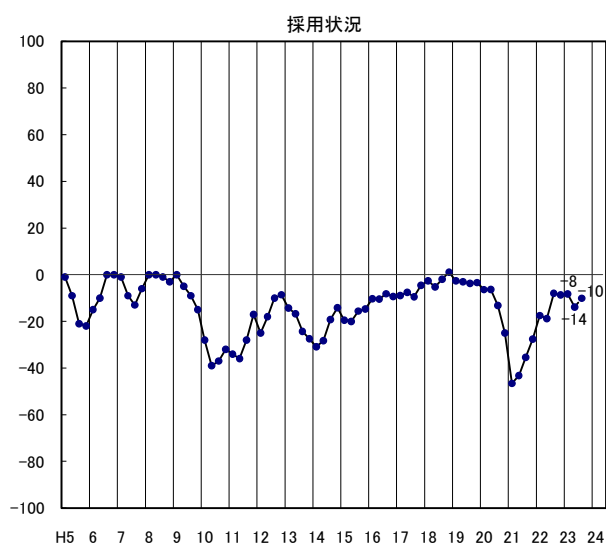
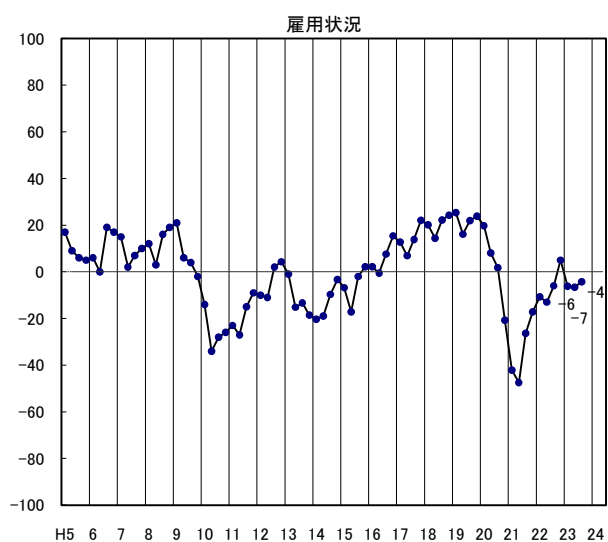
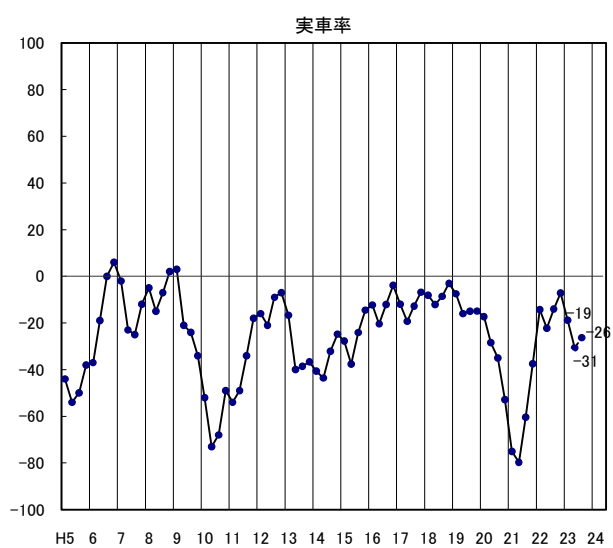
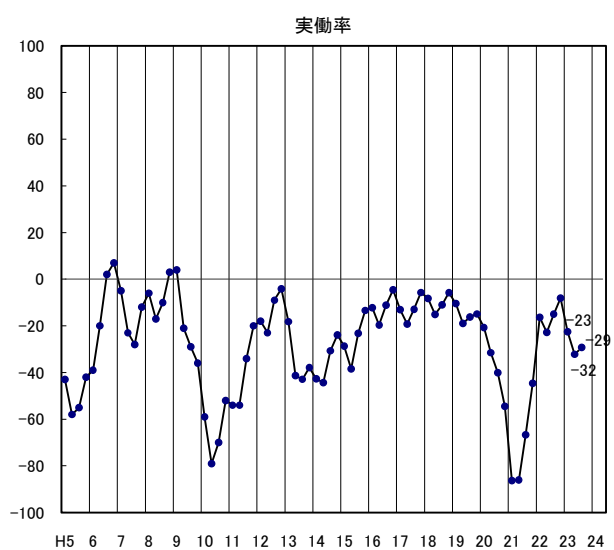
業 況 判 断 指 標 の 推 移
平成5年第1四半期～平成23年第2四半期実績、平成23年第3四半期見通し



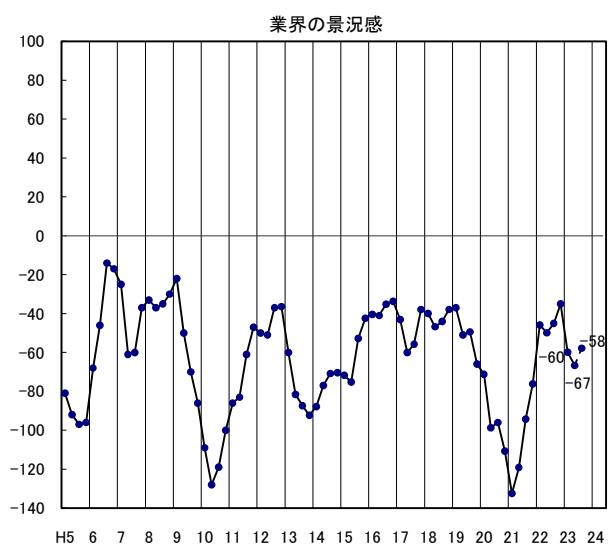
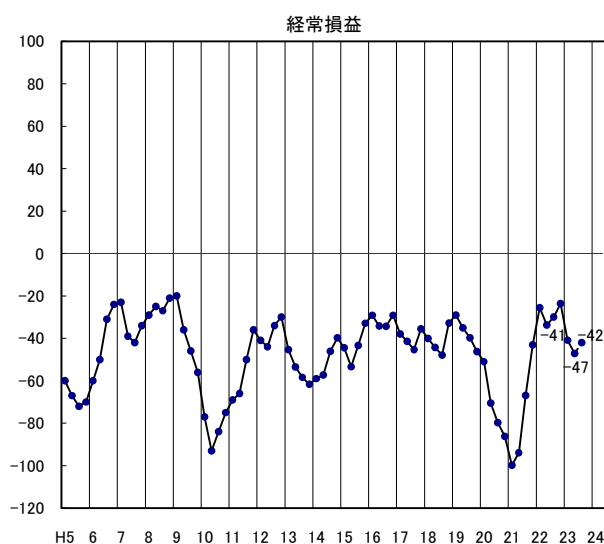
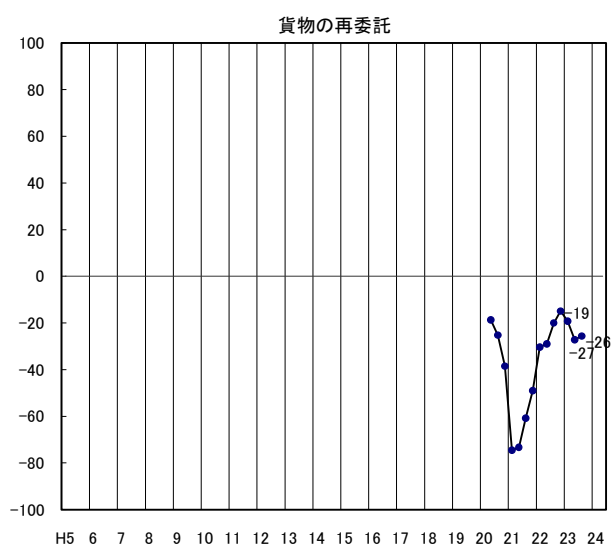
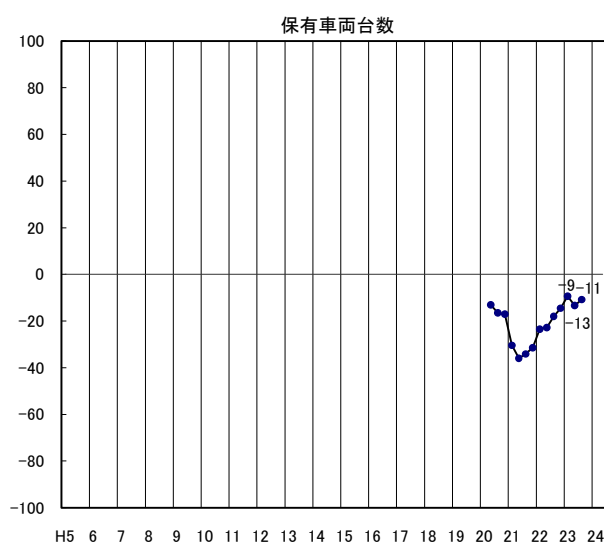
業 況 判 断 指 標 の 推 移
平成5年第1四半期～平成23年第2四半期実績、平成23年第3四半期見通し



業 況 判 断 指 標 の 推 移
平成5年第1四半期～平成23年第2四半期実績、平成23年第3四半期見通し



業況判断指標の推移
平成5年第1四半期～平成23年第2四半期実績、平成23年第3四半期見通し



業 況 判 断 指 標 の 推 移
 平成5年第1四半期～平成23年第2四半期実績、平成23年第3四半期見通し

